

令和4年度「市長と語り合う会」について（安田地区）

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和5年 2月13日（月）	安田公民館	19:00～20:00	9	6	15

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
 - ・ 会の趣旨説明
 - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

1. 令和4年度施政方針「危機を機会に転じる積極思考」

・脱炭素社会の実現に向けた取組

地球温暖化と言った気象変動は、産業革命以来、二酸化炭素の排出量が急激に増えてことにより進んだとされている。今、国際社会で二酸化炭素等の排出量を減らす動きが強まっており、国内においても、脱炭素社会に向けて取り組むことが必要とされている。

市においても、これまで、市の施設の照明をLEDに変えたり、屋根に太陽光発電装置を設置し取り組んできた。今年度は、共用車として電気自動車を一台導入し、どれくらいの効果があるのか検証を行いたいと考えている。

・行政サービスの効率化・最適化を図る「デジタル・トランスフォーメーション」

第8波が少しずつ収まりつつある中、政府では、本年5月8日から感染法上の位置づけを2類から5類に変える方針が示され、マスクについても3月半ばから着用は個人の判断によるものとされている。コロナウイルス感染拡大により、離れた場所でも、人と人が話したり、会議を行ったりするようになった。市においても、デジタル技術を使い行政サービスを効率化し、市民の皆様快適なサービスを提供する工夫をしている。現在、市役所の窓口において、亡くなられた方のご家族の手続き等を1カ所で済ませることができるサービスを行うこととし、庁舎の改修も行うこととしている。今後も新しい技術を活用し、市民サービスの向上に向けて取り組んでいきたい。

・益田市型中高一貫教育の実現に向けた取組

これまでも、小学校に入る前の保育所、幼稚園の段階から小学校、中学校にわたり、益田に愛着をもって、将来も益田市で活躍してくれるようふるさと教育を重点的に進めてきた。

今後は、中学校から高校までの6年間を一貫した形で行い、高校卒業後の進学を優位に進めてもらい、進学した後は、地元に戻り活躍してもらえるような取り組みが必要と考えており、こうした考え方に賛同していただける学校と連携した取り組みを行っていきたい。

・交通インフラ及び都市基盤整備

高速道路については、三隅益田道路の工事が進み、令和7年度に全線開通する見込みである。益田西道路、益田田万川道路についても事業化され工事が行われることとなっている。

残る区間は、久城から高津までの間の益田道路で、本来は高架道路や橋として繋がる予定であり、この区間は高津川と益田川の浸水想定区域にもなっているため、災害の安全度を高めるためにも重点的に国へ要望している。

また、この区間は区画整理を進めてきたところで、未整備である益田川左岸南部地区の土地

画整理事業も進めていきたい。

萩石見空港について、コロナ渦で利用が減っていたが、少しずつ回復しており、本年秋以降も2往復運航が続くよう取り組んでいきたい。大阪便についても、運航期間の拡大に向け取り組んでいきたい。

また、JR山陰本線の収支状況が非常に厳しい状況であることが報道発表された。鉄道もなくてはならないものであり、今一度、鉄道路線の利用について呼び掛けていきたいと考えている。

・ワクチン接種

ワクチンについては、現在4回目を接種されておられるかと思う。5類への移行により、今後ワクチン接種がどうなるかは示されていないが、必要となれば速やかに環境の整備に努めていきたい。

2. 市制施行70周年

昭和27年に、当時の町、村が合併して益田市が誕生し、昨年が70周年の年であった。記念式典を11月3日にふれあいホールみとで行い、市の発展に貢献いただいた方々への感謝の気持ちを表すとともに、今後さらなる発展に向けて、市民の皆様全員で気運を高めていこうという趣旨で行ったところである。これからも市民の皆様と一緒に、さらなる発展を目指していきたい。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 市役所職員について
- ② 道路整備について
- ③ 人間ドックについて
- ④ 広聴の場について
- ⑤ 擁壁の崩壊について
- ⑥ ボランティア活動について
- ⑦ ボランティア活動について（活動紹介）
- ⑧ 地域自治組織の運営について

○ 閉会（秘書課長）

令和4年度「市長と語り合う会」

〔会場 安田公民館 開催日時：令和5年2月13日（月）19:00～20:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 市役所職員について 市役所職員の資質の改善を積極的に行ってほしい。一般の市民より高い給与である。窓口等で職員の対応が非常に悪く、職員が自ら改革していこうという気持ちになるよう取り組んでほしい。</p>	<p>① 職員の資質向上は大事なことである。窓口の対応等については、苦情をいただくたびに、職員に対し注意喚起しているが、今後とも指導していきたい。職員の立場としては、地方公務員で全体の奉仕者であり、市の事業や給与も税金から成り立っていることを自覚してもらい、市民の方へ納得していただける仕事ができるような職員になるよう取り組んでいきたい。</p>
<p>② 道路整備について 安田地区の関係団体の連名で、国道9号の歩道整備の要望を提出した。すぐの対応は困難だが前向きに検討するとのことだった。要望区間の中に、市道谷上線と国道の取り付け部分が狭く危険で、そこについては早急に検討したいとのことであったが、現在の状況をお聞きしたい。</p>	<p>② 地元の要望については、国と情報は共有している。市道の改良について個別に把握はしていないが、早く整備できるよう努力していきたい。</p>
<p>③ 人間ドックについて 国民健康保険の被保険者が人間ドックを受信するにあたり助成制度等はないのか。ないのであれば、今後検討していただきたい。</p>	<p>③ 国保に加入されている方の人間ドックについては、毎年4月に広報等で募集をしている。人数に制限があるので希望に添えるかはわからないが、応募していただければと思う。</p>
<p>④ 広聴の場について 市長との懇談の場が紹介しているが、それによりどういった意見または効果があり、今後どうしていくのか伺いたい。 地元のいろいろな活動の中で、ご意見要望があるが、そういった場があれば、皆さん参加しやすいと思うし、市長としても地元の声が届くのではないかと。</p>	<p>④ 資料裏面の懇談の場は、団体等が希望された場合に開催するもので、現状年1回あるかないかである。効果としては、直に意見等を伺い今後の市政、施策に反映させていく事である。定期的な広聴の場は、市長と語り合う会だが、その他の懇談の場は、ご希望時応じて対応しているので、気軽に申し込んでいただきたい。</p>
<p>⑤ 擁壁の崩壊について 昨年9月の大雨により団地内の擁壁が崩壊し市の水路が閉塞した。市の対応としては、費用を全額請求し負担しないとされたが、規模が大きく個人で負担は難しい。市も事業費を負担していただく事はできないのか。 水路は、市で維持管理されていると言われたが、管理しているという感じではなく、また築30年以上の経過による老朽化もあり、一概に擁壁だけが原因ではないのではないかとと思う。市としての対応はどうか。 自分で確認したが、広範囲にクラックがあるので、その調査もお願いしたい。</p>	<p>⑤ もともと市が設置した水路があり、その後で作られた住宅擁壁の強度が不十分であったため崩壊し、水路が塞がれている状況と認識している。基本的には、このような場合は、原因者の責任で対処いただくことになる。市で負担は難しいが、相談には応じる。 水路そのものが老朽化、劣化して崩れたのであれば、当然市が補修しないとイケないが、明確にその水路の損傷が劣化によるものであるという事でないと、市として費用を掛けることはできない。 クラックについては、担当課で再度確認するが、クラックが入っていたとしても、水路としての用を成していたのであれば、現状の擁壁が崩れて水が流れなくなっているという損傷とは違うので、どの程度古くなっているのかよく見ないとイケない。</p>

⑥ ボランティア活動について

地域でボランティア活動をしているが、参加人数が少ない。市の職員のOB会等があれば、声をかけていただき、退職者に地元のボランティア作業等含め、地元の事業に参加してほしい。後継者がいないため先々が不安である。市の仕事をやってきた経験を活かし参加していただければ活動が活発になると思う。また、職員に対しどのくらい参加しているか調査を行ったらどうか。

⑦ ボランティア活動について（活動紹介）

児童を地域で支えていく取り組みとしてボランティアハウスを行っており、毎日20名くらいの児童が学校帰りに寄る。ボランティアの方は65歳以上の方がほとんどで、反対に子供たちから力をもらっている。先日も児童から手紙をもらった。子供たちもこの場所が大好きなようである。

⑧ 地域自治組織の運営について

一般社団法人安田地域づくり協議会で、駅パンくるくるの運営を行っているが、経営が厳しいところもあるので、今後ともご協力いただきたい。また、地域お助け隊として、家裏の木の伐採を行っている。今後、その伐木を薪として販売する計画としており、薪割り機の購入を検討しているが、支援等はないものか。また、県外からIターンする際の宅等支援について、萩市や津和野町のように、施策をお願いしたい。

⑥ 職員が退職する際に、退職後も引き続き地域住民として地域に貢献してほしい旨をお伝えしているが、若い職員にも出来るだけ地域の住民と活発に交流し、コミュニティーとして立場を果たすよう促している。あとは、一人一人の職員が実践していただく事と思うが、引き続き促していきたい。調査については、仕事以外のことなので、難しいところもある。個人によるところもあるので、検討していきたい。

⑦ ボランティアハウスの運営ではお世話になっている。今後ともよろしく願いたい。

⑧ くるくるパンについては、市の職員も購入希望はあると思うので、時間帯等ご検討いただきたい。また、地域自治組織に対しては、現在も支援しているところだが、さらなる支援については今後の検討課題としたい。UIターンの施策について、人口増の必要性としては、働き手の確保と買い手の確保で、経済圏でいえば萩市も津和野町も益田市と同じであり、益田市の経済が活発となるよう協調して行っていきたい。